

5年ぶりに開催する。実施期日は、10月1日の土曜日にオフィスパーク大村で実施予定である。

競艇事業部長 (2)今後の交付金問題は、競艇躍進事業の終了を見て再検討をすることで申し合わせがなされている。今後、競艇場を存続していく上で、交納付金の問題は避けては通れない。施行者協議会が意見をまとめて国土交通省なり関係団体なりに強く働きかけていくように強く申し上げていきたい。
(その他の質問事項)
持ち家奨励条例。
国道34号線。

道が変われば

街が変わる

北村議員 (1)教育行政について
現在4箇所ある給食センターは、昭和48年から56年にかけて建設され老朽化しており又、調理方法がドライ方式に変更され調理場が手狭になっている。建て替える考えはないか。
平成14年中学校給食懇話会から最終報告がなされているが正式な回答がなされていない。給食センターの改築に伴って、中学校給食を考えに入れたらいいか。

がが。
(2)都市整備行政について
国道34号線拡幅工事の大村高校から市道久原線までの供用開始はいつからか。又、市道久原線から与崎交差点までの今後の見通しについて
久原池田線の須田ノ木工区、三城工区の供用開始時期はいつか。

教育長 (1)現在の施設規模及び敷地規模では、改良の限界に近づいているため、抜本的な整備計画を立てる時期に来ていると判断をしている。計画は、年度中にも立てていきたい。

中学校完全給食を実施する場合、ドライシステム施設建設の概算の経費は約8億2千万円、施設のランニングコスト約1億5千万円が必要と思われる。更に別途施設用地が必要となる。したがって、厳しい財政状況の中では、現段階では困難である。
市長 (2)大村高校から久原交差点の間における用地取得は約40%である。残りの用地についても、今年度用地取得のため引き続き交渉したい。久原交差点から与崎交差点までの間については、今年度の一部交渉し、残りを来年度に交渉する予定である。工事については、用地買収がある程度まとまった区間で完了すると着手できることになっ

ている。
久原池田線は、用地が一部残っていることや、橋梁工事にかかることから、供用開始の見通しはつけにくい状況であるが、平成22年度完成を目標に事業の認可をとっている。1年でも早く完成できるようにさらに県に要望を続けてまいりたい。

(その他の質問事項)
障害者自立支援法について。
住民基本台帳ネットワークについて。

**学校2学期制の
本格導入は
より慎重な姿勢で!!**

伊川議員 (1)教育行政について
学校2学期制について、本市では、18年度からの本格導入を目指し、説明会等の取組みが始まったが、保護者間でも不満や不安の声が多い。すでに実施している金沢市や宮崎市、あるいは導入を予定している佐世保市も試行期間を設けて、学校現場保護者、地域の理解を深め検証する時間がもたれている。百年も続いてきた3学期制の変更は、何より影響を受ける子どもたちのことを考え、慎重な姿勢で臨んでもらいたい。18年度は、

全校試行期間としてとらえ、その後完全実施をする考えはないか。
(2)福祉保健行政について
次世代育成支援行動計画について。様々な事情から、妊娠・出産について誰にも相談できず悩んでいる女性も多い。そうした不安を和らげ、一人でも多くの赤ちゃんの命を救うため、匿名でも受け付ける「妊娠110番」の電話相談窓口の設置ができないか。

教育長 (1)校長会、プロジェクトチーム等で研究部門をつくり、十分に話し合いをしてまいった結果、一斉スタートした方がいいということになった。これは、学校数が21校ということでもまともであり、市の行事等も一緒にやっていることがたくさんあることから、試行した学校と試行していない学校との差があると、全体行事がやりにくいということであった。18年度から一斉スタートとなるが、もちろん改善すべきことは改善してまいりたい。

福祉保健部長 (2)妊婦専用ではないが、現在でも市の健康増進課窓口、すこやかセンターでも、相談には対応している。また、保健所では、6月から女性専用の医療相談窓口というものが開設され、これは、まず電話で保